

旧暦	新暦	泊地名	できごと
3月5日	4月2日	江戸 発	夜、赤羽橋で合流した金子重之助と発つ
6日	3日	保土ヶ谷	(横浜市保土ヶ谷区)8里半の夜道を歩き、明け方宿に着く
6日	3日	横浜村	投夷書を作成、佐久間象山を訪ね松代藩営中に泊まる、1里余
7日	4日	横浜村	大槻盤溪に会う、酒樓に船頭を招き出船を画策するが失敗
8日	5日	保土ヶ谷	本牧の地形調査、永島三平に会う、投夷書を増補する、1里余
9日	6日	保土ヶ谷	浦賀同心吉村に会う、横浜村で船を探すが得られず
10日	7日	金川	(横浜市神奈川区)来原良蔵・赤川淡水ら来る、浜屋泊、1里半
11日	8日	金川	薪水積込みの船に便乗を画策するも果たさず
12日	9日	金川	乗り込み遅延のため、永島江戸へ帰る
13日	10日	保土ヶ谷	夷船を追い羽田へ行く、下田行きを象山に告げる。往 廻 里半
14日	11日	鎌倉	伯父竹院の瑞泉寺を訪ね一泊する、4里半
15日	12日	小田原	藤沢、平塚、大磯と進み、増水した酒匂川で体を濡らす10里余
16日	13日	熱海	根府川関所で、熱海に湯治に行くと伝える、入湯数次、7里
17日	14日	大河	東伊豆町大川、伊東で昼食、下田を目指す夷船2隻を見る10里
18日	15日	下田	旧岡方村(市内二丁目)岡村屋に泊まる、夷船2隻を見る、8里
19日	16日	下田	木村軍太郎らと情報交換、投夷書の手交を画策する
20日	17日	蓮台寺	皮膚治療のため蓮台寺温泉へ、医師村山家に泊まる、1里
21日	18日	下田	海岸へ出て夷船の動向を偵察、岡村屋泊
22日	19日	蓮台寺	ペリー旗艦以下6隻を見る、金子は下田に戻り偵察、村山家泊
23日	20日	下田	木村らと柿崎海岸から夷船を偵察、岡村屋泊
24日	21日	蓮台寺	ペリー一行の了仙寺訪問を見る、岡村屋宿泊を断る、村山家泊
25日	22日	柿崎村	下田に戻り偵察、船で夷船をめざすが失敗、柿崎弁天社で寝る
26日	23日	柿崎村	柿崎を離れ外浦海岸へ、坂上の茶屋で泊まる
27日	24日	柿崎海岸	投夷書を手渡す、弁天祠に隠れ、潮の満ちる夜を待つ
28日	25日	下田番所	午前2時、舟で夷船へ、ボートで送り返される、名主宅に自首
29日以降	26日以降	長命寺	取り調べ後、現在の中央公民館のある長命寺の観音堂に預けられる
数日後	数日後	平滑獄	組頭黒川嘉兵衛による取り調べを受ける
4月8日	5月4日	平滑獄	江戸から身柄引き取りのため八丁堀同心2名、岡引5名が来る
11日	7日	湯ヶ島	下田発、下田街道を通り天城越え

12日	8日	三島	役人の松陰に対する態度は慇懃なものであったらしい
13日	9日	小田原	
14日	10日	保土ヶ谷	下田 を利用した幕府役人の一般的な日程は4泊5日若しくは5泊6日
15日	11日	江戸	夜遅く江戸に入り、北町奉行の仮牢に収容、現在の東京駅八重洲口の辺り